意見交換会における意見等への対応について

議長　肥後　淳三 様

令和8年9月15日

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

経営政策常任委員会委員長　佐貫　尚子

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
1	意見	【人口減少対策】 30～40代の人口が少ない、人口減が進んでいるが、三田市からの情報発信がうまくいっていないのではないか。			○
2	意見	【人口減少対策】 三田市のイメージを一気に上げるのは難しい。			○
3	要望・提案	【人口減少対策】 三田の強み（交通アクセスが良い、静かなど）を活かしてほしい。			○
5	意見	【移住促進】 HPやFacebookが見にくい。若者はあまり見ていない。			○
6	意見	【移住促進】 おためし移住をもっとアピールしたほうがいい。			○
7	要望・提案	【移住促進】 働く場を増やしてほしい。			○
8	要望・提案	【移住促進】 若者や子育て世代のUターンを促進するため、三田市に戻ってきやすい住環境や雇用環境等の整備をさらに推進してほしい。			○
9	要望・提案	【移住促進】 一度市外へ転出した市民が、将来、三田市へ戻ってきたいと思えるような施策を充実してほしい。			○
10	意見	【市民病院】 良い医師が1年で交代している。長期間、診てくれる医師が必要。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
11	意見	【市民病院】 声が聞こえない人など障害者の意見を、新病院建設に活かしてほしい。			○
12	要望・提案	【市民病院】 高齢者、障害者も使いやすい、だれもが使いやすいユニバーサルな新病院にしてほしい。			○
13	要望・提案	【市民病院】 新病院の運営主体について、民間運営となるのか、公営となるのか、今後の方向性を明確にしてほしい。			○
14	要望・提案	【市民病院】 新病院の経営が赤字となった場合、最終的に誰がどのような形で補填するのか、将来の財政負担を明確にしてほしい。			○
15	要望・提案	【市民病院】 新病院の整備・運営について、医療や経営に関する有識者を含めた特別委員会等を設置し、専門的な知見を取り入れて検討してほしい。			○
16	要望・提案	【市民病院】 新病院の運営方針や経営方針を早期に確立し、市民に分かりやすく示してほしい。			○
17	要望・提案	【市民病院】 新病院については、建設時だけでなく、将来の経営状況や市の財政負担も含めた長期的な視点で検討してほしい。			○
18	意見	【防犯】 ウォーキングしていると、深田公園や三田谷公園で若者がたむろしている。女性一人で横を通るのは怖いのではないか。			○
19	要望・提案	【防犯】 各家庭においても防犯カメラを設置しやすくなるよう、設置費用への助成制度を検討してほしい。			○
20	要望・提案	【防犯】 三田幹線道路等においてごみの不法投棄が見られるため、防犯カメラを設置してほしい。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
21	要望・提案	【防犯】 道路・公園の不具合通報システムを防犯に活かしてほしい。			○
22	要望・提案	【防犯】 三田市と消防、警察との連携状況を明確にし、さらなる連携強化を図ってほしい。			○
23	要望・提案	【防犯】 犯罪抑止や事件・事故の早期解決のため、防犯カメラを増設してほしい。			○
24	意見	【防災】 体育館に泊まる等、新しい防災訓練の形も必要ではないか。			○
25	意見	【防災】 災害弱者が取り残されないようにしてほしい。			○
26	要望・提案	【防災】 南海トラフ地震等の大規模災害に備え、自主防災組織の強化を図ってほしい。			○
27	要望・提案	【防災】 防災訓練の内容や実施方法について、現在の社会状況に合わせて見直してほしい。			○
28	要望・提案	【防災】 自主防災組織の運営を自治会だけで担うことが困難になっているため、組織のあり方や運営方法を見直してほしい。			○
29	要望・提案	【防災】 防災講話等に市職員が積極的に参加し、市と地域が一体となった防災体制を構築してほしい。			○
30	要望・提案	【防災】 市の防災に対する認識や取組をさらに高めてほしい。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
31	要望・提案	【財政・経済対策】 10年程度の財政見通しだけでなく、30年程度の長期的な財政見込みを示し、将来の市財政の状況を市民に分かりやすく示してほしい。			○
32	要望・提案	【財政・経済対策】 人口減少や公共施設の老朽化、新病院の運営等を踏まえた長期的な財政シミュレーションを実施してほしい。			○
33	要望・提案	【財政・経済対策】 地域経済の活性化や市民・事業者への経済支援について、さらなる施策を検討・充実してほしい。			○
42	要望・提案	【子育て】 習い事支援をの財源についてはふるさと納税を活用すればよいと思うが、三田市はあまりうまくいってないと聞く。泉佐野市のように外部のアドバイスを取り入れたら良いのではないか。			○
90	意見	【情報】 アプリ「くるるさんだ」にポイント付与すればもっと活性化できるのではないか。過去に歩いてポイント付与されるアプリがあったが、今は無くなった。同じようにならないようにして欲しい。			○

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．１９、２０、９０

経営政策　常任委員会

市民からの意見	(№.１９)各家庭が防犯カメラを設置しやすくなるよう設置費用の助成制度を検討してほしい。 (№.２０)三田幹線道路等においてごみの不法投棄が見られるため、防犯カメラを設置してほしい。 (№.９０)アプリ「くるるさんだ」にポイント付与すればさらに活性化できるのではないか。過去、歩いてポイント付与されたアプリは今は無い。同じようにならないようにしてほしい。
調査研究した内容 (現状､市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	(№.１９) 【市当局説明】 市の防犯カメラ設置の取組として、各小学校区を中心に 215 個を設置・管理を行い、犯罪抑制や犯罪発生時に警察の求めに応じデータを提供して検挙につなげている。また、自治体等が防犯カメラを設置する場合は、県と一緒に補助・支援をしている。各家庭への防犯カメラ設置の補助については、プライバシーへの配慮や予算的制約、公平性、設置場所による費用対効果など市の防犯に対する様々な事業の中で、優先順位を考えていく必要がある。以上のことから、現時点では、現行の補助支援や補助の拡充を優先的に対応するため、各家庭への設置の補助については難しい。 【市当局との質疑応答】 ・各家庭の防犯カメラの設置となれば数が多すぎると思うので、手上げ式で予算枠内で取り組むことなど検討できないか。 →防犯カメラは数があればあるほど良いのではなく、関係機関と確認しながら有効な箇所に設置している。各小学校区や自治体等への助成を優先し、各家庭の防犯に見合うものを各家庭で設置してもらうように考える。 ・家庭用と自治会などに設置する防犯カメラの価格は？ →家庭用の防犯カメラは性能によって１万円以内から 10 万円ほどのものがある。自治会への防犯カメラの補助金の上限額は８万円としており、工事費込みで考えれば 10 万円から 20 万円ほどのカメラを設置している。 (№.２０) 【市当局説明】 ごみの不法投棄は、環境政策課がパトロールなども実施し、抑制に向けて対応しており、一体的に考えていくことが効率的である。危機管理課では犯罪抑止などを役割とし、不法投棄をしないための監視カメラとしての役割を考えれば、役割分担は環境政策課になるかと考える。

	【市当局との質疑応答】 ・自治会の防犯カメラの設置にはどのような傾向・目的があるか。 →理由の全てを聞き取ってはいないが、ごみ不法投棄のためなど特定の目的ではなく、防犯面での気になる場所など、防犯対策が主になる。 ・年間の補助はどれくらいあるのか。 →年間２件程度であり、予算もその額としているため、予算額を超えた場合は、待ってもらうこともある。 (№９０) 【市当局説明】 「くるるさんだ」は令和８年度末まで実証実験中で、事業者の協力の下、原資不要の地域ポイントを提供しクーポンのように利用してもらっている。また、電子回覧板機能や救急電話の相談機能など、生活に直結するよう、利用者が日々使えるものを目指して取り組んでいる。 現在 3,181 人が利用し、137 店舗が協力している。日々の利用に使えるよう加盟店の拡大と市民利用の促進がどれくらいになるかが、アプリを継続して使うことの判断材料となる。 例えば、高齢者の困りごとを解決した協力のお礼として、ポイントのやり取りをするなど、利用者間でポイント移転の仕組みを設けることも趣旨になるとは思うが、機能改修には相応の費用が生じるため、社会実験では難しい。検討材料として考えており、アプリの進捗を見ながら対応したい。 【市当局との質疑応答】 ・アプリの実証実験中で利用者等が増えれば市の施策と合わせ、機能を増やしたら費用が発生するとのことだが、今後どのように進めるのか。 →令和８年度末までの実証実験だが、一旦、年内中に登録者や利用者の状況を踏まえて、アプリを継続するかどうかを判断する。そのうえで、機能を追加していくかどうかを考えていく。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 3　委員会で継続調査 ④　参考意見とする 5　その他	(№１９)(№２０)(№９０)いずれも委員会への参考意見とする。 (№１９)(№２０) 　問題の不法投棄が三田市内かは不明だが、不法投棄の観点からは環境政策課でパトロールしているとの説明があり、一体的に考えていく必要がある。また、防犯カメラについては、すでに危機管理課で様々な補助事業を行っていることもあり、参考意見とする。 (№９０) 　「くるるさんだ」は現在実証実験中であり、年内を区切りの目安として結果報告が委員会に上がってくる。今後の展開を委員会で追っていけるので現時点では、参考意見とする。

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等への対応について

議長　肥後　淳三 様

令和8年9月4日

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

福祉教育常任委員会委員長　小杉　崇浩

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
4	要望・提案	【人口減少対策】 医療費無償化の実施によって、いわゆる「コンビニ受診」の増加や医療機関の混雑が生じていないか、制度の利用や医療費への影響等、実施後の状況を検証して今後の制度運用に活かしてほしい。			○
34	意見	【子育て】 給食費無償化や医療費無料化は助かっている。が、近隣と比較した場合突出しているわけではないので、もう一歩何かあればと思う。			○
35	意見	【子育て】 いじめや差別について、学校だけに対応を委ねるのではなく、家庭・地域・社会全体で子どもたちを守る仕組みづくりが必要。			○
36	意見	【子育て】 SNSの普及により、従来とは異なる形でのいじめや誹謗中傷、差別が発生しており、子どもたちの健全な成長を阻害する要因となっていないか懸念する。			○
37	意見	【子育て】 公共施設などを活用し、子どもたちが安心して過ごせる居場所や自主学習ができるスペースを拡充すべき。			○
38	意見	【子育て】 保育の新2号認定が月64時間以上の就労が要件になっているが、難しい。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
39	要望・提案	【子育て 新2号認定は延長保育を使用したり長期休みなどになると割に合わない。放課後児童クラブについても同じで、もう少し利用条件となる就労時間を短くして欲しい。		○	
40	要望・提案	【子育て】 少子化対策として、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市独自の財源を活用し、児童手当への上乗せなどの支援策を検討できないか。			○
41	要望・提案	【子育て】 大阪などで行っている習い事支援をしてはどうか。		○	
43	要望・提案	【子育て】 学校の空き教室なども子どもの居場所として活用することを検討してはどうか。その際、学校に管理責任を集中させるのではなく、施設として活用し、見守りについては地域人材や大学生などの協力を得る仕組みが必要。			○
44	要望・提案	【子育て】 0歳から2歳までの幼児教育・保育料について、現在の所得制限をなくし、市独自の財源による無償化の拡充を検討してはどうか。			○
45	意見	【健康・福祉】 介護に関する相談窓口が分かりにくく、「どこへ相談すればよいか分からない」。			○
46	意見	【健康・福祉】 介護認定の基準が厳しく、特別養護老人ホームなどの公的サービスを利用しにくい。			○
47	意見	【健康・福祉】 民間の介護施設を利用すると費用負担が大きく、生活を圧迫する。			○
48	意見	【健康・福祉】 民生委員・児童委員の担い手不足も地域の相談体制に影響している。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
50	意見	【健康・福祉】 健康づくりには、市民への啓発活動や食育を充実させることが重要。			○
51	意見	【健康・福祉】 食生活の変化（ファストフードの増加、食品添加物・保存料の利用、食事時間や回数の乱れ）により、栄養バランスが崩れ、健康への影響を懸念する。			○
52	要望・提案	【健康・福祉】 農業が身近にある三田市の特色を生かし、地場産野菜を学校給食で積極的に活用することや、マルシェなどを通じて顔の見える安心・安全な農産物を食べる機会を増やし、「食から健康へ」を三田のブランドとして発信してはどうか。			○
53	意見	【学校教育、学校再編】 小学校の牛乳パックにストローが無くなった。行儀やこぼしたりする問題があるのではないか？先生には必要な人は自分で持ってきてと言われている。			○
54	意見	【学校教育、学校再編】 iPadの持ち運びが重い。			○
55	意見	【学校教育、学校再編】 Wi－Fi環境を各家庭で整える必要があるが、誰もができるのか疑問。			○
56	意見	【学校教育、学校再編】 トイレについて、先生と生徒の掃除だけでは汚い。			○
57	意見	【学校教育、学校再編】 PTAの負担が大きい。トラブルも増えている気がする。			○
58	意見	【学校教育、学校再編】 PTAを解散するにも余剰金があり、難しい。登校班の負担もある。自分の子どもを見られないのに他の子どもの見守りをする場合もある。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
59	意見	【学校教育、学校再編】 教員の確保と資質向上のため、研修のあり方を見直し、一律に課される研修ではなく、教員が主体的に学びたい分野を選択できる任意研修を充実させるべき。教員のやりがいやモチベーション向上にもつながる。			○
60	意見	【学校教育、学校再編】 不登校支援に取り組む市民団体への財政的・人的支援を充実させ、学校だけでなく地域全体で子どもを支える体制づくりが必要。			○
61	意見	【学校教育、学校再編】 学校からの情報発信や情報開示を充実させるとともに、オンライン授業やデジタル教材を積極的に活用し、不登校傾向のある児童・生徒や学習の進度が遅れがちな児童・生徒に寄り添った個別最適な教育を推進すべき。			○
62	意見	【学校教育、学校再編】 学校の統廃合については、児童・生徒数の減少だけを理由とした短期的な判断ではなく、長期的な視点に立ち、通学区域（校区）の見直しやスクールバスの活用も含めた抜本的な学校配置のあり方を検討すべき。			○
63	意見	【学校教育、学校再編】 藍中学校、長坂中学校は、合併しても小規模校である。今後さらなる合併を考えると、交通手段のサポートが必要。			○
64	意見	【学校教育、学校再編】 学校の統廃合のメリット、デメリットをしっかりと考えてほしい。			○
65	意見	【学校教育、学校再編】 幼稚園の統合はもめたが、小学校はしかたないという雰囲気がありもめないと思う。			○
66	意見	【学校教育、学校再編】 学校の選択肢が少ない。神戸市のように通学補助があれば選択肢が広がりそう。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
67	意見	【学校教育、学校再編】 水泳の授業について、民間で行っているところがあると聞くが、学校でやるところとの指導に差はないのか。			○
68	要望・提案	【学校教育、学校再編】 水泳の授業は6月から今の時期に行っているが、梅雨などで授業ができない時もある。9月頃でも良いのではないか。			○
69	要望・提案	【学校教育、学校再編】 植栽管理などPTA費だけでは難しいものもあり、市からの支援が欲しい。			○
70	要望・提案	【学校教育、学校再編】 体育館のエアコン費用が計上されているが、何校に設置できるのか。暑さで体育が中止になったりしているので早く設置して欲しい。			○
71	要望・提案	【学校教育、学校再編】 豊富な経験を持つ臨時講師を積極的に採用するとともに、市の推薦制度などを活用し、講師から正規教員への採用ルートを拡充すべき。			○
72	要望・提案	【学校教育、学校再編】 不登校児童・生徒にも配慮した学校再編をしてほしい。			○
73	要望・提案	【不登校】 不登校児童生徒の給食費の補助はないのか。	○		
74	意見	【不登校】 教室がにぎやかすぎると、不登校気味の子どもが落ち着かない。			○
75	意見	【不登校】 子どもが不登校になると、ママ友から孤立してしまう。親もしんどい。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
76	意見	【不登校】 不登校による孤立を防ぐために、クリーンデーなどに積極的に親子で参加するなどの提案があった。			○
77	要望・提案	【不登校】 SSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)をさらに充実する必要がある。			○
78	要望・提案	【不登校】 様々な情報をメール配信でなく、紙でも提供してほしい。			○
79	要望・提案	【不登校】 不登校の保護者に情報が届くシステムを作ってほしい。			○
80	意見	【不登校】 同じ学校の仲間なら安心だが、他校との生徒とは、いじめなどが心配。			○
81	意見	【部活動の地域展開】 日本はヨーロッパ型のクラブ活動の定着は難しい。日本は学校教育中心。			○
82	意見	【部活動の地域展開】 これからの中学生の居場所は大丈夫か？家にこもってスマホばかりにならないか心配。			○
83	要望・提案	【部活動の地域展開】 地域クラブに参加していない中学生の居場所を作ってほしい。	○		
84	要望・提案	【部活動の地域展開】 部活動の地域移行を見据え、児童・生徒の移動手段の確保や交通支援を含め、地域クラブ活動への支援を一層充実させるべき。			○
85	要望・提案	【部活動の地域展開】 地域クラブの平日バス運行や路線バス活用などして保護者負担を減らしてほしい。			○

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　NO.　３９

福祉教育常任委員会

市民からの意見	新２号認定は延長保育を使用したり長期休みなどになると割にあわない。放課後児童クラブについても同じで、もう少し利用条件となる就労時間を短くしてほしい。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【当局への確認事項】 新２号認定の現状と要望への見解 ・新２号認定とは：幼稚園等を利用する3～5歳児の保護者が、14時以降の預かり保育の利用料減免を受けるための認定区分である。 ・要件変更への見解：認定基準（月64時間以上の就労）を短くしてほしいという要望（解釈）に対し、これは国の基準に沿った適切な時間であるため、現時点での変更は考えていない。変更すると通常の保育認定（2号認定）の要件にも影響し、本当に保育が必要な人への適切な配分ができなくなるため。 放課後児童クラブ（学童保育）の現状と今後 ・現状の課題：利用ニーズが高く、対策を講じてもなお令和８年４月１日時点で合計51人の待機児童が発生している。 ・緩和への見解：現在の厳しい受け入れ状況の中で就労要件（週４日以上、かつ午後１時～4時の就労など）を緩和すると、待機児童がさらに急増する恐れがある。そのため、今後は児童数の動向や地域の偏りを分析し、入所優先順位の設定方法など制度設計の見直しを含めて検討していく方針である。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 3　委員会で継続調査 4　参考意見とする 5　その他	現時点で早急に取り組むのは国の制度との関連で難しいと思われるが、該当する市民にとって深刻な課題であり、今後も委員会での検討を継続する。

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　４０

福祉教育常任委員会・会議

市民からの意見	少子化対策として、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市独自の財源を活用し、児童手当への上乗せなどの支援策を検討できないか。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【当局から確認した内容】 独自の財源上乗せに向けた課題・方針：独自の給付（財源の上乗せ）を行う場合は、児童手当そのものの枠組みではなく、臨時給付金などの新たな給付事業として検討する必要がある。 東京都と同等の独自給付（月額5,000円）を行った場合の試算 対象児童数：公務員の保護者分を含め、全体で約16,000人。 必要予算額：年間約9億6,000万円。 今後の検討姿勢：更なる支援策の実施にあたっては、限られた財源の中で子育て世代の人数や課題を踏まえ、より効果的な支援につながる施策について慎重に検討していく必要がある。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 3　委員会で継続調査 (4) 参考意見とする 5　その他	

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　NO.　４１

福祉教育常任委員会

市民からの意見	大阪などで行っている習い事支援をしてはどうか。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【当局への確認事項】 • 有用性と効果：子供たちが家庭環境に左右されず、希望に沿って挑戦し可能性を伸ばせる点で非常に有用である。また、利用者が事業者を選ぶことでサービスの質が向上し、地域の子育て環境の充実や地域経済の活性化、さらには子供の居場所作りにも効果が期待できる。 • 課題と現状：導入に向けた最大の課題は財源である。大阪市の事例（小5～中3に月最大1万円助成）を本市の対象者（約5,000人）に当てはめると、毎年約6億円が必要になると試算されている。そのため、現在は限られた財源の中でひとり親世帯などに対象を絞って支援を行っている。 • 今後の対応：家庭環境による体験機会の格差をなくすことは重要であるため、今後も効果的な支援策について検討を継続していく方針である。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 (3)　委員会で継続調査 4　参考意見とする 5　その他	家庭環境による体験格差や学習機会の差をなくすためには大変有効である一方、多大な予算が必要であり、その財源が大きな課題である。 効果的な実施方法を委員会としても検討を継続する。

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　５３

福祉教育常任委員会・会議

市民からの意見	小学校の牛乳パックにストローが無くなった。行儀やこぼしたりする問題があるのではないか？先生には必要な人は自分で持ってきてと言われている。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【当局から確認した内容】 ・牛乳パック変更の背景：環境配慮（プラスチックゴミ削減）のため、令和６年度よりストローレス容器を導入している。 ・ストロー配慮の現状：児童の成長段階や状況に応じてストローが必要な場合があることは教育委員会も認識しており、現在も市から提供する運用を行っている。 ・今後の対応：導入から数年が経過していることを踏まえ、適切な運用が徹底されるよう改めて全学校へ周知を行う。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 3　委員会で継続調査 (4) 参考意見とする 5　その他	

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　５５

福祉教育常任委員会・会議

市民からの意見	Wi-Fi 環境を各家庭で整える必要があるが、誰もができるのか疑問。
調査研究した内容 (現状､市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	【当局から確認した内容】 各家庭における Wi-Fi 環境整備および課題への対応について ・財政的支援の実施： 各家庭での環境整備に対する支援策として、就学援助制度に「オンライン学習通信環境整備支援費」を設定。 ・補助内容： 新小学 1 年生および転入生を対象に、1 回線当たり 12,000 円の補助を支給。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 3　委員会で継続調査 (4) 参考意見とする 5　その他	

※該当番号に○印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　６７

福祉教育常任委員会

市民からの意見	水泳の授業について、民間で行っているところがあると聞くが、学校でやるところとの指導に差はないのか。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【当局への確認事項】 • 指導格差への懸念と対応：民間施設を利用してインストラクターが指導に加わる場合でも、目標や評価基準は学習指導要領に基づく学校の教育課程に沿って設定されている。学校で実施する場合も担任や体育担当が発達段階や安全面に配慮しており、いずれの場合も学校が調整・指導しているため、指導に差が生じないよう徹底されている。 • 民間インストラクターの派遣状況：令和７年度は小学校へ民間施設のインストラクターが派遣され、学校で指導する事例があったが、令和８年度の現状としては予定されていない。 • 今後の可能性：小学校には「体力アップサポーター」を派遣する制度があるため、次年度以降も自校で実施する水泳授業に民間の指導者が派遣される可能性は残されている。
検討結果 １　市長等へ提案・要望 ２　議会報で報告 ３　委員会で継続調査 ４　参考意見とする ５　その他	

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、２ の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　６９

福祉教育常任委員会

市民からの意見	植栽管理などPTA費だけでは難しいものもあり、市からの支援が欲しい。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【当局への確認事項】 植栽管理は基本的に学校の責任において適正に行うべきものであると認識している。現在は、校務員の日常管理、包括管理委託によるのり面の除草、実情に応じた学校配当予算の配分などにより対応しており、PTA やボランティアの活動を前提とした管理計画ではない。
検討結果 1　市長等へ提案・要望 2　議会報で報告 3　委員会で継続調査 4　参考意見とする 5　その他	

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　７３

福祉教育常任委員会・会議

市民からの意見	【不登校】 不登校児童・生徒の給食費の補助はないのか。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	1. 現状 【無償化に伴う不公平感の課題】 三田市で給食無償化を進める中、不登校やアレルギー等で給食を利用できない家庭に対し、経済的・精神的な不利益（実質的な自己負担感）が生じている。 2. 市当局から確認した内容 【制度構築の考え方】 給食を利用できない家庭に不利益が生じない仕組み作りが必要であり、先行他市の事例を参考に制度化を検討中。 【財源確保の状況】 小学校： 国の交付金（1 人あたり月額 5,200 円）を財源として活用可能。 中学校: 現状では該当する財源が見当たらないため、確保策の整理が必要。 【今後の課題（支給基準と事務負担）】 登校・不登校の状況変更に対応する基準（「一定期間非喫食継続」を何日・何ヶ月とするか等）の設定と、それに伴う事務手続きの煩雑さが課題。
検討結果 (1) 市長等へ提案・要望 (2) 議会報で報告 3　委員会で継続調査 4　参考意見とする 5　その他	１　市長等へ提案・要望する。 「支援の対象は不登校児童生徒にとどまらず、食物アレルギーにより給食提供を受けられない児童生徒や、病気療養等で長期間の入院を余儀なくされる児童生徒も含めて幅広く検討・対応されたい。本課題は三田市のみならず全国的な課題でもあることから、給食無償化の恩恵が公平に行き渡るよう、実情に応じた柔軟な制度設計と必要な財源措置について、市長等へ提案・要望する。」 ２　議会報で報告 同上の内容。

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．　８３

福祉教育常任委員会・会議

市民からの意見	地域クラブに参加していない中学生の居場所を作ってほしい。
調査研究した内容 （現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等）	【現状】 中高生の居場所づくりにおいて、学校教育の枠組みだけでなく地域全体で取り組む「地域ぐるみ」の視点と対応が課題となっている。 【市当局から確認した内容】 現在策定を進めている次期教育振興基本計画において、地域ぐるみで子供を育てる環境づくりを大きな施策の柱として位置付ける予定である。 今後、同計画の枠組みの中で、地域クラブへの参加も含めた具体的な施策や支援策の検討を進めていく方針を確認した。
検討結果 (1) 市長等へ提案・要望 (2) 議会報で報告 3　委員会で継続調査 4　参考意見とする 5　その他	１　市長等へ提案・要望する。 地域クラブへの参加状況にかかわらず、中学生の居場所づくりは本市における喫緊の課題である。また、高校生の居場所に関しても、かねてより市内に適切な活動・滞在場所が不足している点が指摘されている。 中学生および高校生（中高生世代）全体を広く対象に含め、行政として実効性のある居場所づくりの具体策や支援体制の検討を速やかに進めることを強く要望する。 ２　議会報で報告 同上の内容。

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等への対応について

議長　肥後　淳三 様　　令和8年9月15日

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

生活地域常任委員会委員長　今北　義明

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
3	要望・提案	【人口減少対策】 三田の強み（交通アクセスが良い、静かなど）を活かしてほしい。			○
7	要望・提案	【移住促進】 働く場を増やしてほしい。			○
8	要望・提案	【移住促進】 若者や子育て世代のUターンを促進するため、三田市に戻ってきやすい住環境や雇用環境等の整備をさらに推進してほしい。			○
49	意見	【健康・福祉】 地域における支え合い（共助）の意識が年々低下しており、地域コミュニティのつながりを強める取組が必要。			○
52	要望・提案	【健康・福祉】 農業が身近にある三田市の特色を生かし、地場産野菜を学校給食で積極的に活用することや、マルシェなどを通じて顔の見える安心・安全な農産物を食べる機会を増やし、「食から健康へ」を三田のブランドとして発信してはどうか。			○
86	要望・提案	【多世代交流】 スポーツクラブ21など多世代で活動、交流できる場をもっと作って欲しい。			○
87	意見	【財政】 体育館や市民センターの利用料金が1.5倍になったが、そのことでどれくらいの収入が増えたのか。支出の削減も必要だと思うが。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
88	意見	【財政】 体育館や市民センターの利用料金が1.5倍になったが、ジムなどを使うと健康な人が増えると思うが。			○
89	意見	【公共交通】 4月から「チョイソコさんだ」が始まっているが、一方で「まごの手」で送迎もしている。バス路線も廃止されて、万が一「チョイソコさんだ」が無くなれば移動の確保が大変なことになるが、「まごの手」が「チョイソコ」さんだの邪魔になってしまっているのではないかと考えるときもある。「まごの手」と「チョイソコ」さんだの問題を市の担当が把握しているのか。整理には市の担当に入ってもらう必要があるのではないか。		○	
91	意見	【地域コミュニティ】 すずかけ台小学校が全国的にも限られた数しか選ばれない「環境美化の表彰」を受けた事例が挙げられた。自治会やまちづくり協議会が学校運営に深く関わり、良好な連携関係が構築できている成功例である。			○
92	意見	【地域コミュニティ】 自治会やまちづくり協議会の取組の良さは理解できても、具体的な活動内容が十分に伝わっていない現状がある。活動の魅力や価値を住民に知ってもらうための広報・発信活動が必要。			○
93	意見	【地域コミュニティ】 「三田に住んで良かった」と住民が実感できるよう、自治会に対する市からの積極的かつ主体的な支援を求める。			○
94	意見	【地域コミュニティ】 自治会加入者の減少が加速しており、自治会活動の維持が困難になっている。			○
95	意見	【地域コミュニティ】 まちづくり協議会と自治会の連携について、地域によっては役割分担や関係性が十分に整理されておらず、活動の重複や意思疎通の難しさが生じている。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
96	意見	【地域コミュニティ】 市の広報媒体を活用し、自治会の役割や地域における重要性を市民へ発信するとともに、自治会加入の意義を広く周知する取組が必要。			○
97	意見	【地域コミュニティ】 ごみステーションの管理など、地域全体に関わる公共性の高い活動について、自治会だけに負担を求めるのではなく、市による財政的支援や、利用者から一定の費用負担を求める仕組みなど、新たな支援制度を検討すべき。			○
98	意見	【地域コミュニティ】 まちづくり協議会や自治会が持続的に活動できるよう、市が単なる補助金交付だけでなく、運営面でのサポートや助言、地域課題解決に向けた伴走支援を積極的に行うべき。			○
99	要望・提案	【地域コミュニティ】 役員のなり手不足という深刻な課題に対し、「班長を5人に増やして役割を分散させる」提案があった。			○
100	要望・提案	【地域コミュニティ】 自治会が担っている地域の見守り、防災、防犯、環境美化などの「共助」の仕組みが失われれば、結果として行政負担の増加につながるため、市として自治会支援のあり方を本格的に検討すべき。			○
101	要望・提案	【地域コミュニティ】 まちづくり協議会と自治会の役割を明確化し、円滑な連携につながるよう、市が調整役として関わるべき。			○
102	意見	【地域振興】 小野公園の池について、地域の皆様が清掃活動などに取り組み、「モネの池」として観光資源化を進めた結果、多くの観光客が訪れるようになった。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
103	意見	【地域振興】 観光客の増加によるオーバーツーリズムへの対応については、地域住民の生活との調和を図ることが重要であり、住民の理解や協力を得ながら、持続可能な観光振興を進める必要がある。			○
104	意見	【地域振興】 観光資源の維持管理について、利用者からの協力金・寄付・募金などを活用する仕組みを構築し、その財源を活かして管理人の配置や維持管理体制の強化につなげるべき。			○
105	要望・提案	【地域振興】 小野公園は観光客の増加に伴い、駐車場不足など新たな課題が発生しており、近隣の空き地などを活用した駐車対策を検討してはどうか。		○	
106	要望・提案	【地域振興】 小野公園は、観光地としての魅力向上を図るため、トイレの衛生面や設備機能の改善が必要であり、市による改修整備を検討すべき。	○		
107	要望・提案	【地域振興】 小野公園の「モネの池」だけでなく、千丈寺湖や周辺の自然環境を一体的に活用し、アウトドア観光や体験型観光の拠点として発展させてはどうか。			○
108	要望・提案	【農業、里山整備】 観光客が希少な生物を捕獲し持ち帰る事案も発生しており、在来種の保護活動を進める中で、貴重な生態系を守るためのルールやマナー啓発など生物多様性を守るための対策を検討すべき。			○
109	要望・提案	【農業、里山整備】 「モネの池」が有する豊かな生物多様性を、単なる観光資源としてだけでなく、環境学習や自然教育の場として活用し、学校教育や地域学習と連携した取組を進めてはどうか。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
110	要望・提案	【農業、里山整備】 「モネの池」などは、地域に関係なく活動する人がいる。毎回10人ほどが参加している。情報共有を他団体とできるといい。			○
111	要望・提案	【農業、里山整備】 担い手不足が続く中、樹木の高齢化（60～70年経過）が進み、倒木リスクが高まっている。今後の安全確保の観点からも、整備体制の強化が必要。			○
112	要望・提案	【農業、里山整備】 市とボランティア団体との連携が十分に機能していないのではないか。各団体が個別に活動しており、連携が不足しているうえ、構成員の高齢化も進行している。草刈り等の地域ごとの活動についても、市全体での整理・連携強化が求められる。			○
113	要望・提案	【農業、里山整備】 市が中心となって、活動団体の連携の場（情報交換会など）を作ってほしい。活動団体の高齢化が進んでいる。新規加入のためにも60代の人も参加できるように、担い手の情報交換会などを土日に開催してほしい。			○
114	意見	【公共交通】 神姫バスの減便や路線廃止により、移動手段の確保に不安がある。			○
115	意見	【公共交通】 「お互いさま之助」等のタクシーに乗る人を増やして、持続可能性あるものにしていく必要がある。			○
116	意見	【公共交通】 買い物困難地域に対しては、移動販売や民間事業者との連携も有効な手段として検討すべき。			○
117	意見	【公共交通】 神姫バスの路線がなくなったところでは、学校のスクールバス、地域内交通など重なりがある。			○

No.	市民からの意見等		方針・分類		
			(1)市長等へ提案・要望する	(2)委員会で検討する	(3)委員会等への参考意見とする
118	要望・提案	【公共交通】 スクールバスを日中地域に利用するなど、他の利用方法を考えてほしい。行政の縦割りをなくして、市民のためのバス利用制度を作ってほしい。			○
119	意見	【フラワータウン再生】 高齢化が進む中で、現在の住民だけが満足する街ではなく、新しい世代が「転入したい」「住みたい」と思える魅力的なまちづくりが必要。			○
120	意見	【フラワータウン再生】 地域交流を促進するため、働いている世代（20代～50代）も含めて人々が集まれる場所や空間の確保がいるのでは。			○
121	意見	【フラワータウン再生】 「ここに行けば生活に必要なものが揃う」という利便性の高い商業施設や最新の機能が必要。特にフラワータウン内は飲食店の数が少ないため、人が集まるきっかけとなる飲食店の誘致・拡充が必要である			○
122	要望・提案	【フラワータウン再生】 特に県営住宅（県住）などの景観・見栄えが悪い。再開発や再生計画を進める前段階として、既存施設の適切な管理・改善（必要に応じて兵庫県への要望を含む）をしっかりと行うべき。			○

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．８９

生活地域常任委員会・会議

市民からの意見	**No.89　「まごの手活動」と「チョイソコさんだ」について** ４月から「チョイソコさんだ」が始まっている一方で、「まごの手活動」による送迎も行われている。バス路線も廃止されている中、万が一「チョイソコさんだ」がなくなれば、市民の移動手段の確保が困難になることが懸念される。 「まごの手活動」の活動と「チョイソコさんだ」のサービスが重なることで「チョイソコさんだ」の運営の持続可能性を失わせる可能性があるのではないかと心配している。市は両者の重複について把握しているのか。また、それぞれの役割分担を明確にしていく必要があるのではないか。
調査研究した内容 (現状､市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	**No.89「まごの手活動」とAIあいのりタクシー「チョイソコさんだ」の役割分担** 【市からの説明】 「まごの手活動」は福祉的要素を含む移送サービス「チョイソコさんだ」は移動に特化したサービスであり、それぞれ役割が異なる。また、検討段階から地元のまごの手活動の担い手の方々のご意見も伺い、相互に補完し合えるよう役割を整理してきた。今後も、両者で情報を共有しながら、必要に応じて改善を図っていく。 【委員からの意見・質疑】 ・「まごの手活動」と「チョイソコさんだ」の双方を市民が選択して利用できることを確認。 ・利用者の重複による競合やトラブルが生じないよう、両者の役割分担を市民にも分かりやすく示し、円滑な運用に努めてほしい。 ・両サービスの利用者の重複状況などを把握することが、今後の役割分担や運用上の混乱を避けるための安心材料になると指摘。 ・「まごの手活動」については担い手の高齢化が進んでいることや、路線バスの休止を受け、地域の移動手段そのものが将来的になくなることへの住民の不安も考慮する必要がある。一方、「チョイソコさんだ」については、年齢制限がないことを踏まえ、若い世代にも利用してもらうための方策を検討してほしい。 こうした意見を踏まえ、「チョイソコさんだ」を単なる移動サービスとして捉えるのではなく、地域の移動手段を確保するための重要な交通インフラとして、今後も継続的に育てていく必要があるとの認識が委員から示された。

	【市からの回答】 「まごの手活動」と「チョイソコさんだ」について、現時点で具体的なトラブルは把握していないものの、利用者の取り合いについては当初から課題として認識しており、両者の役割をすみ分けながら、「チョイソコさんだ」から「まごの手活動」を紹介するなど連携して運用している。また、利用者の重複状況については、運用上の混乱が生じていないか、精査できる機会があれば確認したい。
検討結果 1　市長等へ 提案・要望 (2) 議会報で 報告 (3) 委員会で 継続調査 4　参考意見 とする 5　その他	「まごの手活動」と「チョイソコさんだ」の役割分担や利用状況について、今後の運用状況を見ながら、両者が適切に役割を分担し、地域の移動手段の確保につながるよう、**引き続き経過を注視していく**こととした。 ⇒２．議会報で報告

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。

意見交換会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等　ＮＯ．１０５，１０６

生活地域常任委員会・会議

市民からの意見	**No.105　小野公園の駐車場対策について** 小野公園は観光客の増加に伴い、駐車場不足など新たな課題が生じている。近隣の空き地などを活用するなど、駐車場不足への対策を講じてはどうか。 **No.106　小野公園のトイレ整備について** 小野公園の観光地としての魅力をさらに高めるためには、トイレの衛生面や設備機能の改善が必要である。市によるトイレの改修・整備を進めるべきではないか。
調査研究した内容 (現状､市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	**No.105・106　「小野公園の進入路、駐車場、トイレ等の環境整備」** 【市からの説明】 モネの池への来訪者増加により、公園内の進入路が狭くなっていることが交通上のボトルネックとなっており、県道の渋滞にもつながっていると考えていることから、今年度、進入路の修拡幅に取り組む。また、駐車場についても、指定管理者と連携し、進入路の改善後の状況や多目的広場の活用なども含めて検討していく。 トイレについては、現状、衛生面は確保されているものの、和式便器が中心で施設が狭く、現状では多目的トイレの整備が難しい。今後、市内の公園トイレ全体について、公園施設長寿命化計画を策定し、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化に向けて財源確保を図る。 【委員からの意見・質疑】 **・小野公園の進入路・駐車場について、単なる拡幅にとどまらず、来訪者が集中する時期の交通状況を実際に確認した上で、混雑の解消に向けた複数の対策を検討してほしい。**具体的には、第２駐車場の活用、周辺道路への分散、別ルートによる誘導などを含め、過去に連休時に周辺道路まで渋滞が及んだ状況も踏まえ、現場の実態を十分に把握する必要があるとの指摘があった。 **・トイレについては、来訪者の利便性や高齢者・障害者への配慮から早期の整備を求める意見**があり、既存施設を活用して費用を抑えながら多目的トイレを整備する方法や、クラウドファンディングなど新たな財源確保についても検討してはどうか。 **・野球場についても、ファウルボールが周辺に飛ぶことによる安全面の懸念が示され、必要な安全対策について確認してほしい。**

	【市からの回答】 混雑時の駐車場不足について指定管理者と情報共有し、「混雑する時期であること」を事前に発信するなどの緩和策を検討するとともに、野球場についても注意喚起を行っていく。
検討結果 (1) 市長等へ提案・要望 (2) 議会報で報告 (3) 委員会で継続調査 4　参考意見とする 5　その他	**No.105・106** 小野公園への来訪者増加に伴う進入路・駐車場の混雑や、トイレ等の環境整備について意見が出された。 **No.105** **進入路・駐車場の混雑状況や今後の市の対応を注視していくこととした。** **⇒議会報による報告** **No.106** **トイレの早期改善について、議会から市長へ要望することとした。** **⇒市長要望**

※該当番号に〇印を記入し、１の場合は提案または要望理由及び内容、2 の場合は議会報への記載内容を記載願います。